

目 次

提言の要旨	1
はじめに	2
第1 現状の把握	2
1) 各地元の現状・問題点及び課題	
2) アンケートによる現状把握	
第2 問題点・課題点の整理	6
第3 施策の提言	7
提言1 地域の活力を防災につなげること（自主防災組織）	
提言2 住民の防災知識の強化（防災教育）	
提言3 災害警報の内容に関する改善	
提言4 防災情報伝達手段の改善	
提言5 システムを風化させない仕組みづくり	
おわりに	12
資料1	13
資料2	14

提言の要旨

災害時避難100%を目指して ～実効性をあげるシステムづくり～

現状の把握

- ・避難勧告が出ても避難しない方が多い→なぜ避難できないのか？
- ・避難に対する十分な周知や仕組的な制度的障害は？
- ・心理的や物理的な障害は？

1)各地元の現状・問題点及び課題

◇各地元における、現実的な現状・問題点の検証し課題点を洗い出す。

2)アンケートによる現状把握

実施するため、本年9月の台風12号及び15号の際の避難状況について分析をする。

☆避難勧告・避難指示の実効性をあげるための方策と
その後の風化させないためのシステムづくりは
いかにあるべきか!

【問題点・課題の整理】

避難勧告・指示発令
時の避難率を高める
ためには自主防災組
織の機能を発揮させ
ることが必要

正常化の偏見などの
意識面での障害を越
えるための防災教育
の推進

避難勧告の情報伝
達の有効な手段の
工夫が必要

提言1

地域の活力を防災につなげること（自主防災組織）

提言2

住民の防災知識の強化（防災教育）

提言3

災害警報の内容に関する改善

提言4

防災情報伝達手段の改善

提言5

システムを風化させない仕組みづくり